

第 21 回 多摩市新型コロナウイルス感染症対策本部

関係課長会義【結果】

令和 2 年 5 月 1 9 日 (火)

1 5 時 0 0 分 から

防 災 対 策 室

【検討事項】

公共施設開館等の段階的解除について

1 基本的な考え方の三本柱

- 市民の安心安全をまもる
- 行動の緩みにより、新たなる感染者が発生しないよう、段階的、かつ、慎重に取り組む
- 新しい生活様式を意識した感染予防の徹底。3 つの密を作らない（密閉・密集・密接）

2 公共施設開館等の段階的解除スケジュールについて

(1) 1 カ月単位のステージについて

- ・ 1 カ月単位のステージは長いのではないか
- ・ 準備ができれば、施設再開を前倒ししてもよいのではないか
- ・ 保育施設は、感染拡大防止のための準備・広報等のため、1 カ月の準備期間は必要
- ・ 各施設の運営主体によって準備期間が異なるため、施設の実情に合わせる必要があるのではないか
- ・ 多摩市としての今後の運営方針を明確にし、それに沿った施設再開スケジュールにするべき（慎重に進めるのか、積極的に開放していくのか）
- ・ 緊急事態宣言解除後、東京都が示した見解に沿って、多摩市の方向性を判断していく必要がある。
- ・ 現状の多摩市の感染者数から、市民感情を鑑み、施設開放は慎重に検討していく必要がある

以上のことから、

- ・ 施設の実情に合わせたフレキシブルなスケジュールを検討する。
- ・ スケジュールの立案には、安全側に立って検討する。
- ・ 検討案を作って、関係所管課と協議する。

(2) ステージ移行の判断基準とするための指標について

- ・どの指標を採用するのか（多摩市の感染拡大状況を正確に示している指標は？）
- ・東京都の基準を、多摩市に準用できるようにカスタマイズすることはできるか

以上のことから、東京都の動向を受けて、基準の再検討を行う

スケジュール例

	6 月	7 月	8 月	9 月
第 1 ステージ ・ 文化的活動 ・ 屋外施設	6/1 以降、準備ができ次第、順次開始 (開始時期は各施設で判断)			
第 2 ステージ ・ 市民活動 ・ 屋内施設	・ 感染拡大検証期間 ・ 再開準備期間	基準をクリアした場合、7/1 以降、準備ができ次第、順次開始 (開始時期は各施設で判断)		
第 3 ステージ		・ 感染拡大検証期間 ・ 再開準備期間	基準をクリアした場合、8/1 以降、準備ができ次第、順次開始 (開始時期は各施設で判断)	
第 4 ステージ			・ 感染拡大検証期間 ・ 再開準備期間	基準をクリアした場合、9/1 以降、準備ができ次第、順次開始 (開始時期は各施設で判断)

3 各施設の来館者への対応要領

- (1) 各施設の対応要領を統一する
- (2) 来館者へのマスク着用をお願いする
- (3) 来退館時には、手洗いと手指消毒をお願いする
- (4) 新しい生活様式を守ることをお願いする

4 施設管理者（スタッフ）への対応要領

- (1) 窓口は、飛沫防止策として、フィルム等を設置する
(総務契約課には、現時点では在庫あり)
- (2) 施設の状況により、フェイスシールド、ディスポグロブ等の着用を考慮する

- (3) 施設管理者は、マスクの着用とこまめな手洗いを実施する

【各課からの情報提供】

広報

- (1) HPに掲載するための情報として、各課の年間計画の見直し調査を実施
- (2) 教育委員会の取組について特集を組む予定

【今後についての市長の考え】

~~施設を開放した場合、ソーシャルディスタンス確保のため、従来の定員数は入場できなくなる。透明な間仕切り活用する等の工夫が必要となる。今後は、そのための補正予算を検討していく。~~

新型コロナウイルス感染症対策として、各所管が工夫し、必要な財政措置も含め、慎重にかつ積極的に市民活動を担保できるよう、創意工夫をしてほしい。